

ウノ目タカの目

島田章三展

先輩・洋画回の重鎮である島田章三画伯の個展が、高島屋・日本橋本店（9月16～22日）をかわきりに、京都、大阪、名古屋の各店を巡って開催されます。

今回のために描かれた力作揃いで、開会レセプションにても多数の斯界の泰斗の方々から好評を得ました。是非ご鑑賞をお奨めいたしたくご案内をいたします。

その後の開催日程は、横浜展10月21～27日、京都展11月4～10日、大阪展11月25日～12月1日、名古屋展12月30日～2016年1月5日 となっています。



ごあいさつ

このたび高島屋では顕彰会員で文化功労者の島田章三先生の個展を開催いたします。

島田先生は1933年神奈川県横浜町(現横浜須賀町)生まれ、東京藝術大学油画科在学中に開南堂奨励賞で国画賞を受賞し、随々しく画壇にデビュー、同大学卒業制作では大橋賞を受賞されました。1967年には安井賞を受賞。その後も聖知泉立芸術大学での後進の指導、慶応義塾文化センター所長、初代横浜美術館館長を歴任されるなど、今日に至るまで画壇のみならず我が国美術界を牽引し続けておられます。

戦後美術界における激しいムーブメントの中、人間性と具象を一度に探求しながらキュビズムを日本人の感覚(造形)での翻訳を試み、その結果生み出された「かたらびと」は革新性と影響力において他に類を見ない傑作であり、画家 島田章三が日本美術史上傑作と輝く歴史的な所以なのです。

画家の記憶に存る最先での光景、夜間演習と地元名古屋の賑、または窓内が、存むひとと共に「かたらびと」となって語る者を静かに、染み入るような情緒に誘います。また今回、先生の伴侶である画家 島田結子先生と共にご共催に及び、国策を収めた記念作品集「開眼とシマダイズム」が刊行されます。

何卒ご来場賜りますようお願い申し上げます。

高島屋美術部